



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第13号

令和3年11月4日

10.23 学習の成果発表会！！



10月23日(土)に開催した学習の成果発表会には、保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍の中、感染症対策として、いろいろ考え工夫し従来とは違った「新しい形の発表会」となりました。ステージ発表では、子供たちは、練習した成果を十分に発揮し、自分らしい演技を披露しました。スローガンの「輝け東明っ子！みんな笑顔で目指せ努力の金メダル」が達成されたと思います。

それでは、プログラム順に当日を振り返ります。

【1年生：国語科 音読発表「おむすびころりん」】

ある日、畑仕事へ行ったおじいさん。お昼になって、おばあさんが作ったおむすびを取り出して、手を洗い、食べようとしたところ、おむすびが「ころりん、ころりん」と転がって、ネズミの穴の中。穴の中からは楽しい声が…。思わず飛び込むおじいさん。そこはネズミのお家でした。ごちそうになり、打ち出の小槌をもらいました。家に帰っておばあさんと一緒に楽しく踊りましたとき。かわいい1年生の演技と「いやさー」の声がかっこいいダンスがとても印象に残りました。



【2年生：体育科 「東明忍者、修行中」】

東明忍者村に修行中の忍者が参上。立派な忍者になるために、いろいろな修行をしていました。

修行①壁超えの術：跳び箱をいろいろな跳び方で超えていきました。修行②忍法大車輪：マットの上を大回転しました。修行③縄跳び修行・縄跳びのいろいろな技を披露しました。修行④目くらましの術：華麗なフラフープの技で敵を惑わせました。修行⑤頭がよくなる計算修行：暗算の力を高めました。修行⑤バンブーダンス：忍者ステップを練習しました。体育の授業で身に付けたいろいろな技を存分に披露し、盛大な拍手をもらいました。



【3年生：外国語活動 「世界の国からこんにちは」】

「Hello hello hello How are you」の歌声に乗せて、アメリカ、ロシア、中国、ドイツなど世界の国々の「こんにちは」から始まりました。英語で気持ちを表したり、いろいろな言葉で数を数えたり、言葉だけではなくゼスチャーを付けたり、子供たちは様々な表現を披露しました。

英語で自分の好きなことを伝える場面では、ブレイクダンスやバドミントンのラリー、テニスのサーブなどの実演もありました。子供たちはよくこれだけたくさんさんの言語を覚えたものだと感心しました。3年生に、世界の国の方々と仲よくするコツを教えてもらいました。



【4年生：総合的な学習の時間 「未来の地球をみんなで救おう！SDGs」】

子供たちは、総合的な学習の時間に環境について学びました。その中から、地球温暖化の原因やその影響で起こるゲリラ豪雨や猛暑日、大雪などの環境問題について、スクリーンに映像や資料を映して発表しました。

そして、SDGz（接続可能な開発目標）の17のテーマを伝え、明るい未来のために、これから自分たちができることを紹介しました。子供たちは、その内の12「つくる責任」「使う責任」を取り上げ、食品ロスを防ぐ、電気を消す、水をこまめに止めるなどをクイズ形式で分かりやすく説明してくれました。生活を振り返るよいきっかけとなりました。



【5年生：音楽科 「響かせよう 心ひとつに！～音の重なり～」】

5年生のテーマは、「心ひとつに」です。1曲目は「小さな約束」のリコーダー演奏で、2部に分かれて音の重なりを素晴らしさを聴かせました。2曲目は子供たちのボディパーカッションによる「手拍子の花束」です。4つのパートに分かれ、体全体を使っての演奏はとても見応えがありました。3曲目に「打楽器のリズムアンサンブル」をグループごとに、アメリカやフランスなどの国のイメージを演奏しました。最後は「キリマンジャロ」の器楽合奏です。いろいろな楽器の音が響き、一つになって素敵な演奏でした。一人一人が真剣に演奏し心一つにする大切さを教えてくれました。



【6年生：合科 「今、私たちが考える“本当の友情とは”」】

6年生のテーマは「やりきる」です。国語科や道徳科、家庭科等で習った学びを随所に取り入れ、見応えのある発表となりました。

友情、そして人を信じることの大切さを表現するため、太宰治の「走れメロス」を取り上げました。人間不信におちいった暴君ディオニス王が人々を虐殺していると聞き、メロスが抗議しに行くと、殺されることになってしまいました。メロスは「妹の結婚式に出て、その後に処刑されに戻ってくる」と王に告げ、親友のセリヌンティウスを人質に3日間の猶予をもらいました。戻ってこなかったら、親友が殺されます。メロスは親友のために懸命に走り、刑場に飛び込みました。メロスは、一度だけ諦めようとしたこと告げ、セリヌンティウスに殴らせませす。セリヌンティウスは、一度だけメロスは帰ってこないのではないかと疑ったと告げ、メロスに殴らせませました。抱き合っ泣く2人を見たディオニスは、心を改めます。群衆たちは「王様ばんざい」と歓声を上げました。

6年生が協力して自分たちでつくり上げたことがよく分かりました。子供たち一人一人の迫真の演技が見るものを引き込み、感動を与えてくれました。6年生に感謝の気持ちでいっぱいです。

『本当の友情とは何か』がよく伝わってきました。



【プロローグ・エピローグ】

児童会の5年生はプロローグで「スローガンのもと、日頃から学んだことを学年みんなで発表します」と宣言しました。そして、6年生はエピローグで「コロナ禍の中、昨年度できなかった先輩方の思いも胸に一生懸命頑張りました」という強いメッセージが伝えられ、感動しました。保護者の皆様、「学習の成果発表会」はいかがだったでしょうか。また、ご家庭でお子様と話題にあげてください。

受付や消毒のお手伝いをいただきましたPTA役員の皆様、ご協力ありがとうございました。

(校長 阿尾昌樹)